

犯罪被害に関するアンケート調査結果

県民生活課

1 調査目的

県では、犯罪のない安全で安心な地域社会の実現に向けた取組みを進めており、今後の施策展開の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター 835人

(うちインターネットモニター：506人)

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和2年8月12日～8月31日

回収結果：715人(回収率：85.6%)

その他：構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○最近の治安について

5年前と比べてどのように感じているかについて、「よくなっている」、「どちらかといえばよくなっている」は合わせて26.5%であったのに対し、「悪くなっている」、「どちらかといえば悪くなっている」は合わせて30.5%であった。

○身近な犯罪で不安を感じているものについて(複数回答)

「自宅へ泥棒に入られること」が65.5%と最も高く、次いで「インターネットを利用した犯罪の被害にあうこと」が49.4%となっている。

○犯罪被害にあわないように日頃から心がけていることについて(複数回答)

「必ず玄関や窓にカギをかけて出かける」が74.5%と最も高く、次いで「寝る前は必ず戸じまりをしている」が55.3%となっている。

○安全で安心な地域社会をつくるために効果的な取組みについて(複数回答)

「防犯カメラの設置」が59.2%と最も高く、次いで「防犯灯の設置や、見通しのよい公園・防犯面に配慮した住宅街などの環境整備」が49.9%となっている。

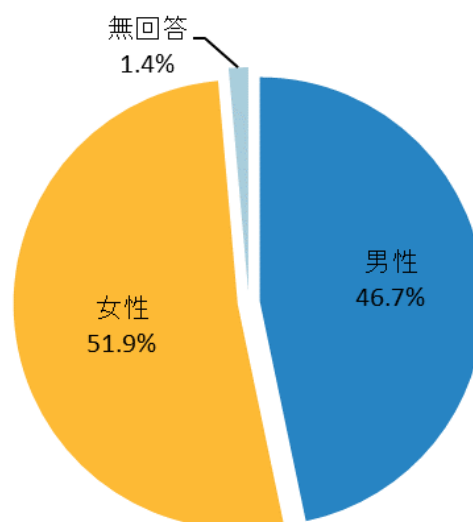
○犯罪の被害者やその家族がおかれている状況について(複数回答)

殺人や傷害など重大な犯罪の被害者やその家族がどのような状況におかれていると思うかについて、「マスコミからしつこい取材を受けていたり、事件に直接関係のないプライバシーや事実でないことを報道されている」が72.8%で最も高かった。

4 回答者属性

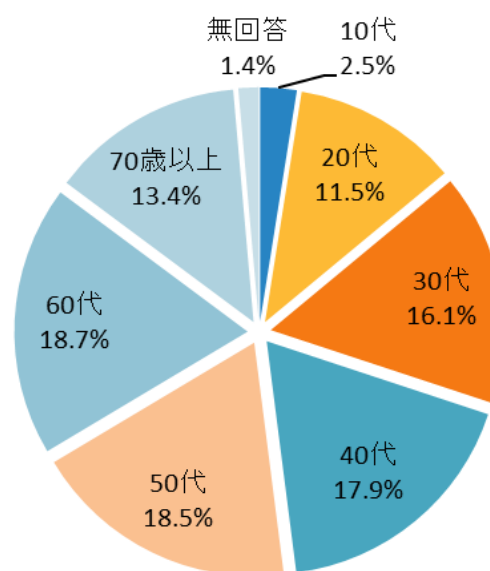
(1) 性別

	人数	割合
男性	334	46.7%
女性	371	51.9%
無回答	10	1.4%
計	715	100.0%



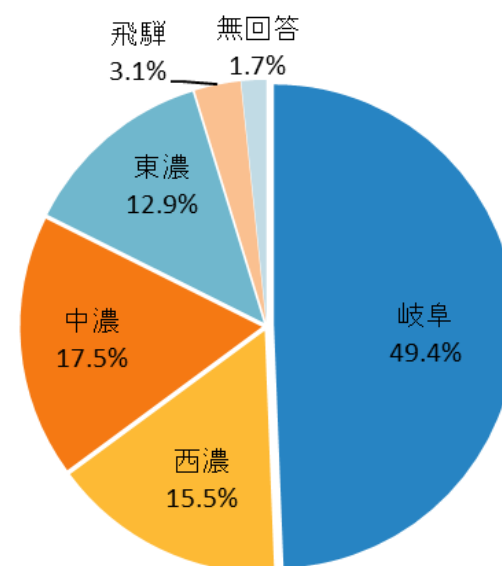
(2) 年代別

	人数	割合
10代	18	2.5%
20代	82	11.5%
30代	115	16.1%
40代	128	17.9%
50代	132	18.5%
60代	134	18.7%
70歳以上	96	13.4%
無回答	10	1.4%
計	715	100.0%



(3) 居住圏域別

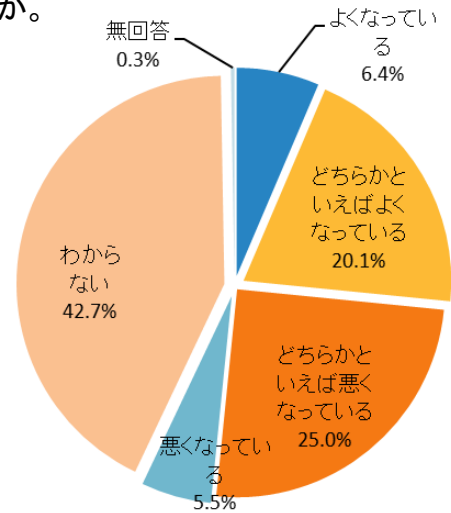
	人数	割合
岐阜圏域	353	49.4%
西濃圏域	111	15.5%
中濃圏域	125	17.5%
東濃圏域	92	12.9%
飛騨圏域	22	3.1%
無回答	12	1.7%
計	715	100.0%



5 調査結果

問1 あなたがお住まいの地域における治安は、5年前と比べてよくなっていると思いますか。それとも悪くなっていると思いますか。

	人数	割合
よくなっている	46	6.4%
どちらかといえばよくなっている	144	20.1%
どちらかといえば悪くなっている	179	25.0%
悪くなっている	39	5.5%
わからない	305	42.7%
無回答	2	0.3%
計	715	100.0%

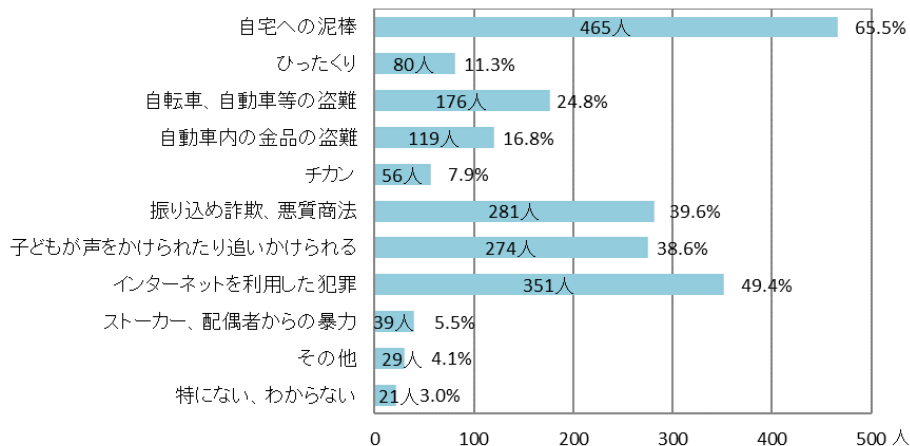


問2 身近に起こり得る犯罪被害のうち、あなたが、特に不安に感じているものはどれですか。（複数回答／回答者710人）

	人数	割合
自宅へ泥棒に入られること	465	65.5%
ひったくり被害にあうこと	80	11.3%
自転車、自動車、オートバイなどが盗まれること	176	24.8%
自動車内の金品が盗まれること	119	16.8%
チカン被害にあうこと	56	7.9%
振り込め詐欺、悪質商法などの被害にあうこと	281	39.6%
子どもが声をかけられたり、追いかけられたりすること	274	38.6%
インターネットを利用した犯罪の被害にあうこと	351	49.4%
ストーカー、配偶者からの暴力などの被害にあうこと	39	5.5%
その他	29	4.1%
特にない、わからない	21	3.0%
計	1,891	

※「その他」の意見

- ・自動車運転時のあおり被害、覚せい剤等の薬物事件 など

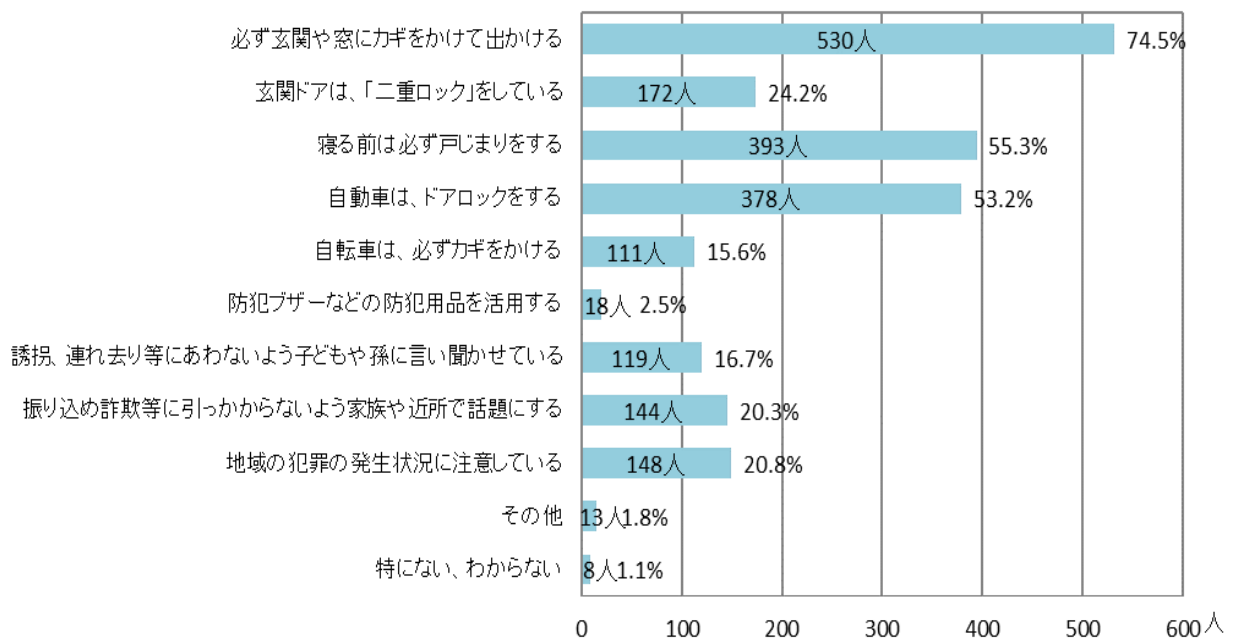


問3 あなたは、犯罪被害にあわないように、日頃から特にどのようなことを心がけていますか。（複数回答／回答者711人）

	人数	割合
必ず玄関や窓にカギをかけて出かける	530	74.5%
玄関ドアは、「二重ロック」をしている	172	24.2%
寝る前は必ず戸じまりをしている	393	55.3%
自動車から離れるときは、ドアロックをしている	378	53.2%
自転車から離れるときは、必ずカギをかけている	111	15.6%
防犯ブザーを持ったり、自転車の前かごにひったくり防止ネットをつけるなど、防犯用品を活用している	18	2.5%
誘拐、連れ去り、わいせつ被害にあわないように、子どもや孫に言い聞かせている	119	16.7%
振り込め詐欺や悪質商法に引っかからないように、家族や近所で話題にするなど注意を呼びかけている	144	20.3%
地域の犯罪の発生状況に注意している	148	20.8%
その他	13	1.8%
特にない、わからない	8	1.1%
計	2,034	

※「その他」の意見

- ・電話に振り込め詐欺防止用の装置を設置
- ・防犯カメラ、センサーライトの設置 など

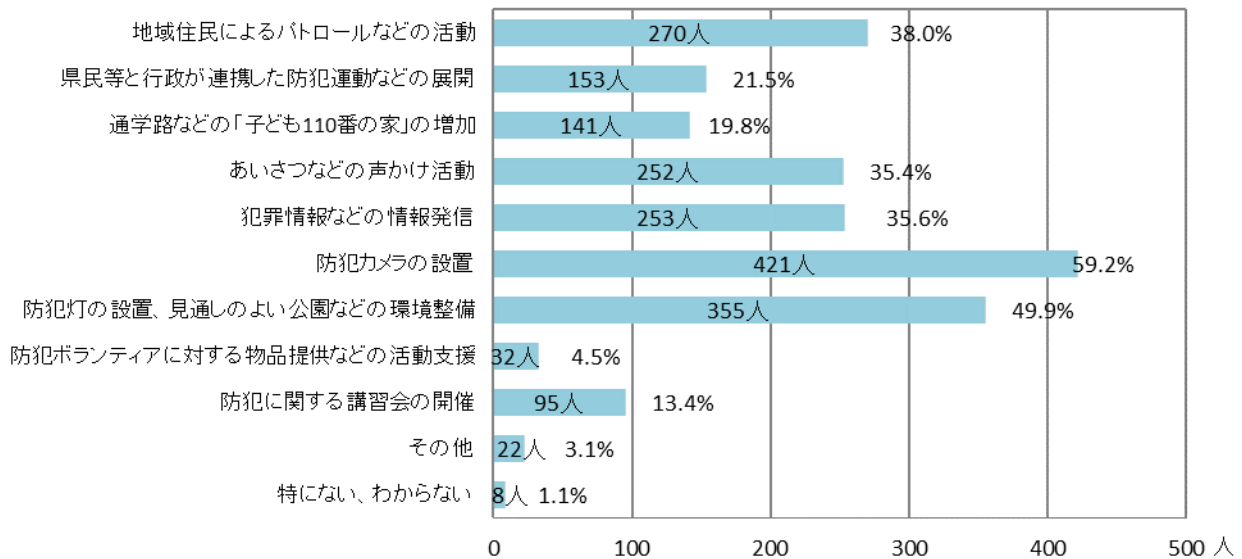


問4 あなたは、安全で安心な地域社会をつくるために、特にどのような取組みが効果的だと思いますか。（複数回答／回答者 711人）

	人数	割合
地域住民によるパトロールなどの活動	270	38.0%
県民等と行政（県・市町村）が連携した防犯運動などの展開	153	21.5%
通学路などにおける「子ども110番の家」の増加	141	19.8%
あいさつなど、声かけを行う活動	252	35.4%
犯罪情報などの情報発信	253	35.6%
防犯カメラの設置	421	59.2%
防犯灯の設置や、見通しのよい公園・防犯面に配慮した住宅街などの環境整備	355	49.9%
防犯ボランティアに対する物品提供などの活動支援	32	4.5%
防犯意識を高めたり、知識を身につけるための講習会の開催	95	13.4%
その他	22	3.1%
特にない、わからない	8	1.1%
計	2,002	

※「その他」の意見

- ・警察による見まわり強化
- ・小学校、中学校のスクールバスの導入 など

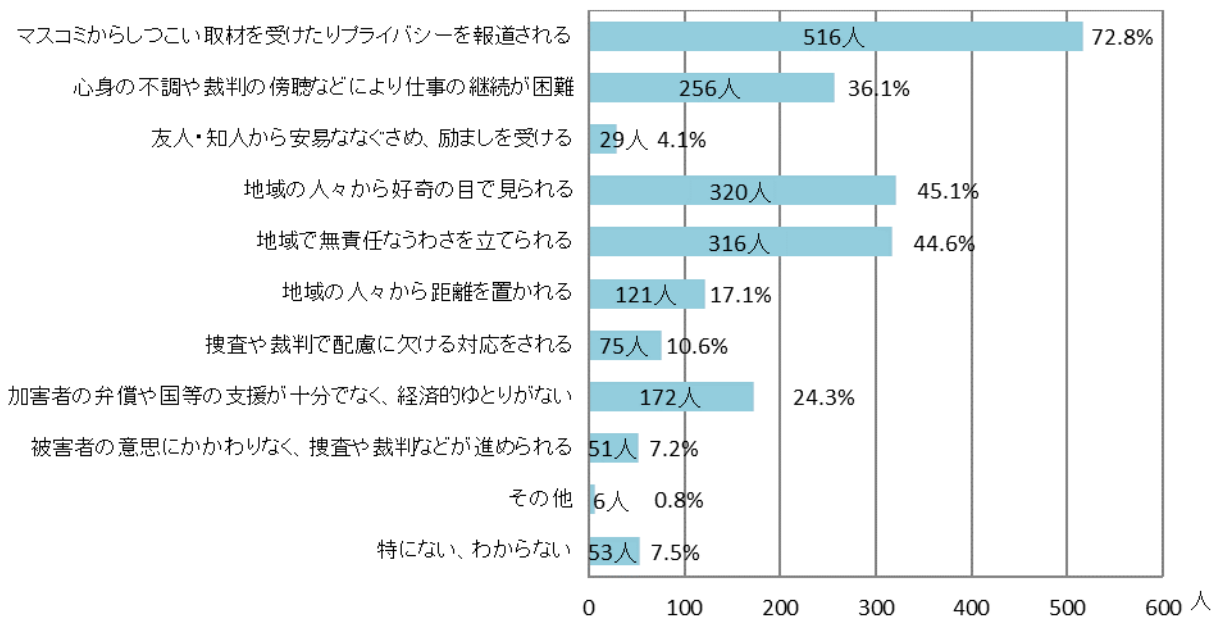


問5 あなたは、殺人や傷害など重大な犯罪の被害者やその家族が、どのような状況におかれていると思いますか。（複数回答／回答者709人）

	人数	割合
マスコミからしつこい取材を受けていたり、事件に直接関係のないプライバシーや事実でないことを報道されている	516	72.8%
心身の不調や裁判の傍聴などによって、仕事を続けることが困難になっている	256	36.1%
友人・知人から安易ななぐさめ、励ましを受けている	29	4.1%
地域の人々から好奇の目で見られている	320	45.1%
地域で無責任なうわさを立てられている	316	44.6%
地域の人々から距離を置かれている	121	17.1%
捜査や裁判で配慮に欠ける対応をされている	75	10.6%
加害者からの弁償や国などによる経済的支援が十分でなく、経済的にゆとりがない	172	24.3%
犯罪被害者やその家族の意思にかかわりなく、捜査や裁判などの手続きが進められている	51	7.2%
その他	6	0.8%
特にない、わからない	53	7.5%
計	1,915	

※「その他」の意見

- ・ SNSでの誹謗中傷
- ・ 自宅に住めなかったり、転職を余儀なくされる。 など



問6 県による犯罪のない安全・安心まちづくりの推進について、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。（主なものを掲載）

○地域コミュニティの活性化

- ・住宅の増加の一方で地域住民の活動が減り、地域力の低下が危惧されている。そういう状況が進むことで、防犯面や防災面での心配が増してくる。
- ・ご近所のコミュニケーションが多ければ、犯罪を抑止する効果もあると思う。
- ・町内会活性化を進めていただきたい。
- ・地域で子供を見守り、高齢者等の振り込め詐欺や悪質商法も、郵便局や金融機関の窓口で阻止、自分たちでも知識を持って自衛したい。

○防犯ボランティア

- ・子どもの登下校時に合わせ、犬の散歩やウオーキングをするように呼びかけ運動など、地域全体で見守る活動の推進
- ・防犯クラブの設置

○地域と行政の連携

- ・行政、警察、地域自治会の情報共有、連携によって現在の状況を把握し、問題となっている部分については警察の重点的なパトロールを実施
- ・防犯運動の展開等、県と市町村が連携して県民が安全・安心に暮らせるようお願いする。

○広報啓発、講習会

- ・自分が被害者になる前に、警戒できるように講習会などで知識として吸収し、各自が必要と考える犯罪予防の行動を取ることも必要。

○環境整備

- ・犯罪予防や犯罪の検証に防犯カメラが有効だと思う。設置に対して県の補助をお願いする。
- ・駅など多くの人が行き来する場所には、防犯カメラを設置してほしい。
- ・監視カメラの設置場所や影響方向、カメラの能力など専門家の知見を求める必要がある。

○児童、生徒への教育

- ・学校教育の中に命の大切さ、生きていく力をさらに重視して入れていく。
- ・学校などで予防教育を積極的に進めてほしい。知識と練習で防げる犯罪もある。

○子どもの安全

- ・集団下校は、犯罪に巻き込まれにくいから非常に良いと思う。
- ・子ども110番の家の人や店舗スタッフが参加できる、地域一体の登下校時にお店の前に立つての声掛けや防犯訓練の実施
- ・子ども110番についてもっと活用範囲を広げることが必要
- ・児童・生徒の通学路になっている道には、街灯を増やしてほしい。

○交通違反对策

- ・車の速度が早すぎる。速度制限の標識を作って欲しい。

○警察

- ・パトカーによる夜の見回りはとても有効だと思う。
- ・駐在所に常に人がいるようにしてほしい。
- ・不審者情報などの連絡や翌日からのパトロール等対応はなされている方だと思う。今後もより徹底してほしい。

○その他

- ・薬物犯罪、DV、無免許運転等の取締りを強化して、治安を守ってほしい。
- ・マスコミの報道を見ると加害者の人権やプライバシーばかりが守られて、被害者の人権やプライバシーが守られていないように感じる。
- ・犯罪被害者のプライバシーの保護、心のケア、手厚い補償は国や自治体が支援するべきだと思う。